

2015年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社 メガチップス
 代表者 代表取締役社長 高田 明
 (コード番号 6875)
 問合せ先責任者 専務取締役執行役員管理統括部長 藤井 理之
 (TEL 06-6399-2884)

第 2 四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2015年5月13日に公表いたしました2016年3月期第 2 四半期(累計)連結業績予想値と、本日公表の2016年3月期第 2 四半期決算(累計)の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2015年5月13日に公表いたしました2016年3月期通期連結業績予想値を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

● 第 2 四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正について

2016年3月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値との差異 (2015年4月1日～2015年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益(△損失)	1株当たり四半期純利益(△損失)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	100	0	△600	△26.85
今回実績(B)	28,781	100	347	△367	△16.42
増減額(B-A)	△3,218	0	347	232	
増減率(%)	△10.1	0	—	—	
(ご参考)2015年3月期第 2 四半期実績	30,492	1,786	1,406	674	29.80

2016年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2015年4月1日～2016年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,000	3,200	3,000	1,000	44.74
今回修正予想(B)	62,000	2,000	1,800	200	8.95
増減額(B-A)	△8,000	△1,200	△1,200	△800	
増減率(%)	△11.4	△37.5	△40.0	△80.0	
(ご参考)2015年3月期実績	64,237	4,895	3,400	1,251	55.64

差異の理由

2016年3月期上半期の連結業績につきましては、中長期の新たな成長分野として取り組みを進めているA S S PのSmart Connectivity (DisplayPort) 製品及びMEMSタイミングデバイス製品の需要が想定を上回ったものの、これまでの既存分野であるゲームソフトウェア格納用L S I (カスタムメモリ) 及び液晶パネル向けL S Iの需要が想定を下回り、全体の売上高は前回発表予想を下回る結果となりました。

営業利益は、台湾ドルの為替レートが予想以上の円高で推移したことで、海外子会社との連結調整時に為替差による損失が発生した一方で、開発効率化・下期への期ずれにより研究開発費が減少し、前回発表予想と同水準となりました。

なお、海外子会社との連結調整時の為替差による損失は、営業外の為替差益として戻し入れの調整がされます。よって、経常利益は前回発表予想を上回り、親会社株主に帰属する四半期純損失についても、前回発表予想の損失額を下回りました。

2016年3月期通期の連結業績予想につきましては、ゲームソフトウェア格納用L S I (カスタムメモリ) 及び液晶パネル向けL S Iの需要が当社の前回想定を下回る見込みとなったことを踏まえ、前回発表の売上高及び各利益を修正いたします。

なお、当第 2 四半期連結累計期間の実績については、本日開示しております「平成28年3月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」をご参照ください。

※ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

以上